

新除草・調節剤

B-3015・プロメトリン除草剤

(取扱メーカー) クミアイ化学工業株式会社

対象作物：陸稲、麦類

性状：作用特性：本剤はチオール、カーバメート系のS-(4-クロルベンジン), N,N-ジエチルチオールカーバメート(ベンチオカーブ=B-3015)を50%と, トリアジン系の α -メチルチオ4,6-ビスイソプロピルアミノS-トリアジン(プロメトリン)を5%含有する混合剤である。

本剤は土壌処理剤で, ノビエ, メヒシバ, スズメノテッポウ等の禾本科一年生雑草をはじめ, 主要広葉雑草にも有効である。又ツユクサ, スベリヒユにも効果高い。

ベンチオカーブは雑草の根部及び幼芽部に吸収され強力に抑制作用をあらわし, 枯死させる。又プロメトリンは一般に知られているトリアジ

ン系の除草剤の一つであり, 雑草の根部から吸収され光合成を阻害し枯死させる。

毒性：人蓄毒性, ベンチオカーブは急性経口毒性でLD₅₀はマウス560mg, ラットで1300mgである。プロメトリンは, マウスで2500mg, ラットで3750mgと極めて安全である。魚毒は, ベンチオカーブはB類, プロメトリンはA類である。

用法：麦類では播種覆土直後雑草発生前に10アール当たり500~750ccを80~100ℓの水に希釈し均一に散布する。雑草が発生して散布しても効果は劣る。又麦の生育中に散布したりすると薬害が出るので, 充分注意する。

陸稲は, 播種覆土直後麦類の場合と同じ要領で10アール当たり600~800ccを80~100ℓの水に希釈して均一に散布する。雑草が発生したり, 陸稲の生育中は散布しても効果が劣ったり, 薬害が出るので使用にあたっては, 農業技術者の指導をうけ正しく散布して下さい。

れるが, 施設栽培での実験例が少ないので, 実用化は今後の検討をまたねばならない。

以上あげた除草剤の毒性試験の結果を第5表に示したが, パラコートが劇物である以外普通物であり, 安全性は高いようである。

第5表 除草剤の毒性

除草剤の種類	急性経口毒性LD ₅₀ (マウス)	魚毒性(稚コイに対する48時間後のTLM)
ダイミッド	1,048mg/kg	88 PPM
クサキラー	569mg/kg	62 PPM
ラッソー	1,480mg/kg	3.7 PPM
トリフルリン	1,810mg/kg	4.2 PPM
ダクロン	4,500mg/kg	6.3 PPM
ベスタック	3,880mg/kg	100 PPM
パラコート	195mg/kg	
N P A	8,200mg/kg	50 PPM